

# FAX COVER LETTER

日本モンキーセンター

園長 加藤章

学芸員 赤見理恵

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 7枚

送信日 2013年 12月 26日

## 年末年始のイベント

### 縁起物 「奇跡のみかん」 について

早いもので、2013年もまもなく終わろうとしています。皆様ますますご活躍のことと存じます。冬の風物詩「たき火にあたるサル」の話題では、大変お世話になりました。

さて、今年もゴリラの FUN から実をつけた『奇跡のみかん』がたわわに実りました。年末年始のおめでたい催しとして、1月1日、2日に皆様に『奇跡のみかん』をお配りいたします。

また今年には特別展「アマゾンの光と影」の開催にちなみ、抽選会終了後、特大サイズのパネトーネとブラジルコーヒの試食会をおこないます。パネトーネはブラジルで愛されているケーキで、当日は4kgの特大サイズを切り分け、200名様以上にご試食いただけます。小さなサイズのパネトーネの販売もいたします。

## ■縁起物『奇跡のみかん』について

どうして「奇跡」なのかと申しますと、実はゴリラのウンチに混じっていたみかん（甘夏のなかま）が奇跡的に生き残り、大樹となり、甘い実を結んだのです。この確率を計算しますと、約二百万分の一（1/2,000,000）となりました。

### 奇跡の理由

- ① 毎日ゴリラはみかん類をたくさん食べます。はっさくや甘夏には種がたくさん含まれますが、多くは噛み潰されてしまいます。生き残る確率はかなり下がります。
- ② 生き残った種はウンチとともにゴリラの体内から出てきます。しかし、毎日の清掃によりほとんど全てが回収され処理されます。
- ③ それでも生き残った種は発芽しますが、除草作業や踏み潰され、ほとんどが生き残りません。

それでも生き残り、大きく育ち、沢山の実を実らせました。しかも、季節に似合わずとても甘いのです。それで『奇跡のみかん』と名付けました。

### 奇跡の根拠となる計算式！

18 粒（平均的含種数） × 10 個（1 日の給餌数）  
× 365 日 × 33 年（アフリカセンターの歴史 33 年） = 2,168,100 粒  
※種の粒数は甘夏など大型柑橘類について最近実際に数えた内輪の数字です。

せっかく奇跡的に実ったみかんを、お正月の縁起物として皆様にお配りしようと考えました次第です。

## ■『奇跡のみかん』摘み取り式

日時：2013年12月29日(日) 11:00～

場所：アフリカセンター

ゴリラの檻の脇のみかんの木の周辺で、奇跡のみかんの収穫をおこないます。  
11:00より数分間、みかんとゴリラのタロウの様子を撮影していただき、その後ゴリラを室内に収容してから、みかんの摘み取りをおこないます。

## ■新春『奇跡のみかん』抽選会

日時：2014年1月1日(元旦)、同2日 12:00～

場所：ビジターセンター前

お渡し方法：11:45までに入園された方全員に抽選整理券を配布、公開抽選

プレゼント数：各日100個、両日合計200個を予定

## ■特大パネトーネの試食会

日時：2014年1月1日(元旦)、同2日 抽選会終了後(12:30頃を予定)

場所：ビジターセンター前

特別展「アマゾンの光と影」の開催にちなみ、ブラジルで愛されているケーキ「パネトーネ」の特大サイズ(4kg)をご用意し、その場で切り分け、皆さまに試食していただきます。約200名様分になります。また併せてブラジルコーヒーの試飲もおこないます。

### <添付資料>

1. 『奇跡のみかん』摘み取り式の様子
2. 『奇跡のみかん』抽選会の様子
3. 特大パネトーネ試食会の様子
4. Webサル図鑑より「ニシローランドゴリラ」

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林26

財団法人日本モンキーセンター

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823

e-mail：info@j-monkey.jp

担当：加藤章(園長)、高野智(主任学芸員)、  
江藤彩子(学芸員)、赤見理恵(学芸員)

## 『奇跡のみかん』 摘み取り式の様子



奇跡のみかんと、ゴリラのタロウ。



摘み取りの様子。脚立をつかい、飼育員が連携して摘み取ります

## 『奇跡のみかん』 抽選会の様子



抽選会の会場に集まった来園者の皆様



のしを入れて包装したみかん

## 特大パネトーネ試食会の様子

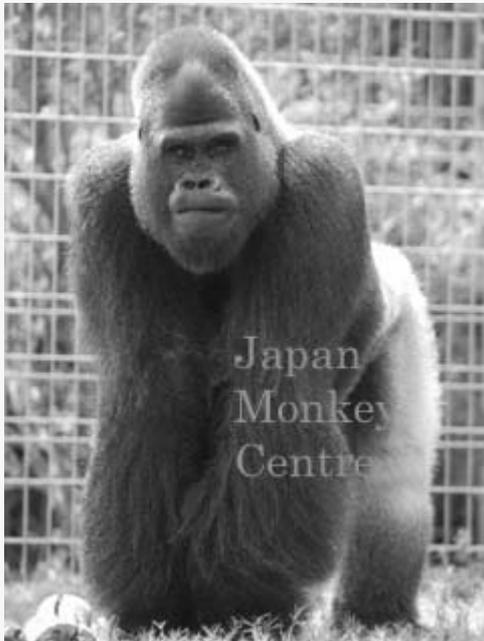


巨大なケーキは切り分けるのも大変です



ケーキを楽しんだ後は特別展会場へ

# ニシローランドゴリラ



英名 Western Lowland Gorilla

学名 *Gorilla gorilla gorilla*

CITES I

IUCN EN

分布



ナイジェリアからザイールにかけてのアフリカ大陸西部

会える場所

アフリカセンター

- 現生では最大の霊長類。
- 性差が大きく、オスは大きいもので体重 200kg を超えるものもいるが、メスは 100kg を超えることはない。
- オトナのオスは背中の中節の体毛が白くなり、シルバーバックと呼ばれる。
- 1頭のシルバーバックと複数のメスとその子供によるハーレム型の集団をつくる。大きな群れでは複数のシルバーバックが存在することもある。
- 果実や草、葉、つるなどを主に食べる。
- 地上では、手の指の中節の背側を地面につけるナックル歩行で移動する。大きな体だが、実は木登りも得意。